

23. ビーチクリーン詠谷

実施主体名	pastacafe のりーちえ
開催日時	2018年3月5日(月)
実施内容	瀬名波海岸のビーチクリーンと海と環境のお話し。
実施状況	参加者は9名。沖縄在住の30代~50代男女。海の環境に関心がある方々と、今回初めての方。海にあまり興味が無かった地元の方々にも関心を持ってもらえました。天候は曇りのち雨。
実施しての所感	サンゴ礁ウィーク2018の一環として、開催させていただき、とても貴重な経験ができました。とりわけ、今回のイベントで、普段海には関心がない方たちに、ビーチクリーンを体験し、海のお話しを聞いていただいたことが良かったです。一人ずつでも海の現状を伝えていき、海の環境が良くなることを願っております。この海に近い場所で、お店が出来るのは、このように、海の環境についても伝える役目があると、実感しており、今回のイベントで、その役目を果たせましたことを有り難く思っております。
メディアへの掲載	FMよみたん2月17日

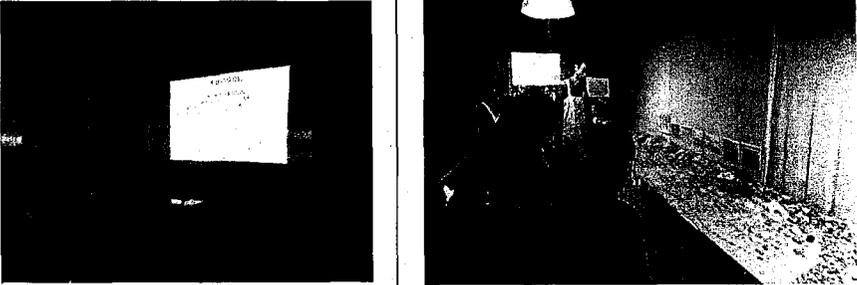


24. ビーチクリーン@隠れ家カフェ清ちゃん 2018

実施主体名	隠れ家カフェ清ちゃん
開催日時	2018年3月4日 13時より
実施内容	海の専門家の先生による海の自然の大切さとゴミ問題の危険さの公演後、お店の下の砂浜のゴミ拾いとシーグラス拾いを行い、店内でシーグラスアート制作を、最後にみんなで食事をしながら会話を楽しみました。
実施状況	親子参加大人7名子供1.5名 一般参加者大人6名 専門家の先生2名 主催者2名の合計32名で実施しました。 専門家の先生が子供達に分かりやすくとの公演でしたが、大人にもとても勉強になる話で大人の参加者もとても良かったとの声が多かったです。 子供達も公演会の質問に対して大きな声で答えてみたり、ゴミ拾いは飽きるのが早かったのですが、シーグラスを拾うのと、それを使ってシーグラスアートを作るのはみんな仲良く楽しそうでした。
実施しての所感	私自身も専門家の先生から話を聞いてみて、よく海に遊びに行っているのを知っているつもりで知らない事が多いと感じました。 今後も機会がありましたら参加していきたいと思えます。
メディアへの掲載	なし



25. グラスボートで行くわくわくお魚&サンゴ礁見学

実施主体名	じゅごんの里
開催日時	2018年3月3日 3月4日
実施内容	グラスボート 貝と言葉のミュージアム見学 サンゴの学習会
実施状況	10名 親子、地元住民、観光客 当日は天候が悪くグラスボートは一日延期した。
実施しての所感	当日の大雨でキャンセルが多く出た。 中南部からの参加予約者が多かった。
メディアへの掲載	なし
	

26. イベント名：サンゴ礁 week 限定!「グラスボート お得に乗船ウィーク」

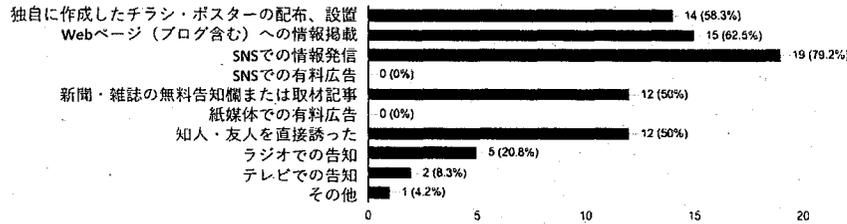
実施主体名	タイガービーチリゾートクラブ
開催日時	2018年3月1日 ~ 2018年3月18日
実施内容	「グラスボートに乗ってサンゴ礁と、まわりに住むかわいいお魚たちを観に行こう!!」 と題し、グラスボート船で海中のサンゴ礁を見に行く中でサンゴの生態やお魚の生態についてクイズ形式の問題等取り入れ説明。
実施状況	参加者数 「184名」 客層 「観光客・週末地元民（親子）・カップル・シニア」 参加者の様子「大人やお子様の反応も良く、クイズ形式や参加型にしたのが受け入れられやすいポイントだったと思います。」
実施しての所感	開催期間中は海況が悪く、18日間の期間中8日間が欠航でした。 参加後のお客様反応や満足度は好評でした。 このようなイベントと繋げる事でより環境（サンゴ等）について意識や認知度を上げられるとても良い機会だと思っております。
メディアへの掲載	

<参加団体アンケート>

参加団体に対してアンケートを実施し、イベント開催にあたっての課題や必要な支援についてヒアリングを行った。以下にその結果を示す。

1. イベントの広報はどのような手段...用いた手段を全て選択してください。

24件の回答

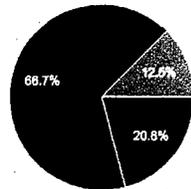


「SNSでの情報発信」がもっとも多く、次いで「Webページへの情報掲載」が多かった。広報費の掛からないオンラインでの広報活動や新聞・雑誌の無料告知欄を活用して広く情報発信に努めていることがわかった。また、回答した団体の半数以上が独自に広報資料を制作して広報を行っていることがわかった。一方で「知人・友人を直接誘った」の票数も多く、上記の不特定多数に広報するだけでなく、確実に参加者を獲得するための動きも必要となっていると思われる。

23

2. イベントの集客はどうでしたか？

24件の回答

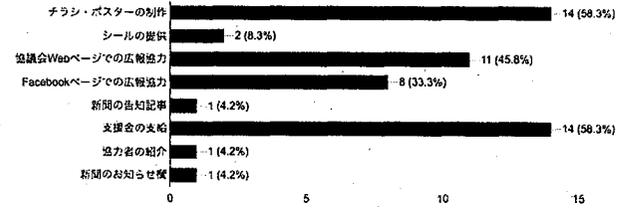


- 十分に集客できた
- まあまあ集客できた
- あまり集客できなかった
- まったく集客できなかった

「十分に集客できた」のは回答した団体の2割程ではあったが、ほとんどの団体がある程度の集客に成功していることがわかった。一方で、十分に集客できていない団体も少数いることがわかった。

3. 協議会の支援の中で役に立ったものはどれですか？

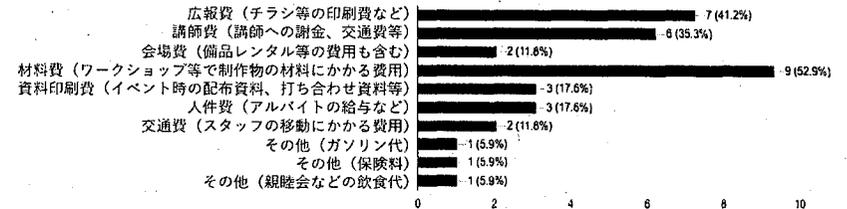
24件の回答



協議会からの支援で最も役に立ったのは「支援金の支給」となり、次いで「チラシ・ポスターの制作」であった。また、協議会のWebページやFacebookページでの広報協力もある程度評価されていた。

4. 支給された支援金はどのように活用されましたか？

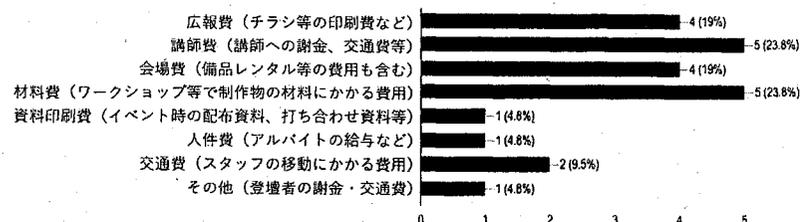
17件の回答



最も選択された用途はワークショップ等の制作物にかかる「材料費」となり、次いで「広報費」、「講師費」となった。その他、イベントの実施に必要な様々な用途に支援金を使用されていることがわかった。

5. イベント実施の予算で最も割合が高いものはなんですか？

21件の回答



イベントの予算で最も割合が高いものは「講師費」と「材料費」になっており、次いで「広報費」「会場費」となった。これは前述の支援金の用途とも一致している。イベントの形式にもよるが、多くのイベントで共通の項目について費用がかかっていることがわかった。

6. イベントの準備段階や当日の運営面で課題や悩みがあれば教えてください。

- 大人数が集まるイベントなので、実行委員のメンバーで役割分担をしているが、その中で情報共有がうまくいかず、出店者に正しい情報が伝わらないこともあった。
- **24** もう少しイベントの周知をしたいが、まだ足りない。
- 離島での開催の為、今回のように船が欠航になった場合の対策方法や、運営に関してもサンゴの日で3/5に開催したいという意見と、週末でなくては集客できないなどの4島での考え方の違いなどが今後の開催に対しての課題です。
- 集客に苦しんでいます。
- 講師や参加者の方々が、皆協力的だったので特別に感じたことはありませんでした。
- 新聞での告知記事に手が回りませんでした。来年以降は是非活用したいと思います。協議会の方でも何かアナウンスがあったのでしょうか、残念ながら気づきませんでした。博物館での開催については、実習室を利用できるように早い段階で計画しようと思います。
- 今回は初めて小学生～大学生を中心に話者・参加者の募集を行ったので、大人向けと勝手が違ってとまどった。
- 地元石垣出身の方の参加がなかなか無いのが悩みです。
- 今回は悪天候で野外活動ができず、参加者が非常に少なかった。こうした場合に代替日が設けられない。
- 野外活動だったので当日の天候が心配だった。
- イベント当日の人の誘導が課題であった。
- 天候によっての実施が延期かの判断が難しかったです。

イベントの広報だけでなく、イベントの運営（特に実施日、天候による催行の判断）についても課題に感じている団体がいることがわかった。広報については集客数だけでなく、集客の対象に関する課題もみられた。

7. その他、協議会への要望やご意見があればご記入ください。

- 今後も支援金等の支援をいただけるとありがたいです。アバサンゴが使えるとよいです。
- 離島の参加団体が少ない印象なので、離島へもう少しPRするとよいのではないかと思います。
- 前2回は、他団体の助成金を受けたが、実施時期からなかなか適当な助成金がなく、今回は見送った。その中で、支援金をいただけ、助かりました。その他にも、いろいろご助力くださり、ありがとうございました。
- サコッシュは私どものイベントでは特に利用する機会がありませんでした。もう少し薄い、手提げ袋のような物であれば汎用性が高いように思います。
- 支援金有難うございます。バッグも好評でした。
- 支援金やポスター・チラシが有難かったです。
- サンゴ礁ウィークそのものの広報がもっと行われると良いと思う。
- 今後ともご支援を宜しくお願いします。
- カバンをいただきましたが使いみちもなく、もったいないと思いました。
- 離島イベントの充実
- このような機会を提供いただき、感謝しております。

支援金の提供やチラシ・ポスター等の広報支援がイベント実施団体にとって重要な支援となっていることがわかった。また、参加団体に配布したサコッシュについては、イベント内容によって活用いただいた団体と、活用する機会のない団体があった。離島でイベントを実施した団体より、離島でのイベント開催の充実についての言及がみられた。

○今後の展望

<総括>

第5回目となるサンゴ礁ウィーク 2018 では、前回から参加団体数、イベント数がともに減少した。2018 年は国際サンゴ礁年となっており、サンゴ礁ウィークと同様に登録イベントを募集していたため、競合した可能性がある。しかし、前回と比較して飲食店など一般事業者からのイベント登録が増加傾向にあり、環境教育、サンゴ保全、研究者などに加えて参加者の所属やバックグラウンドが多様化したように感じられた。これはサンゴ礁ウィーク 2018 実行委員による働きかけによるものである。これまでの広く登録団体を募集する方法に加えて、個別に参加を働きかけてイベント実施のサポートを行うことでさらなる広がりを実現できると考えられる。

課題となっているサンゴ礁ウィーク全体の認知度向上については、国際サンゴ礁年に限らず、イベント全体を協働して実施できる他団体との連携が必要と考えられる。また、協議会主催の企画をオープニングイベントとして開催し、イベント紹介の時間を設けて参加団体の出席を促すことで、協議会と参加団体が共にサンゴ礁ウィークの趣旨を広く呼びかけることができるとよい。

当協議会の活動を含めてサンゴ礁ウィークの取り組みをより広く周知していくことで、当初より目標としている自発的なイベントの実施によって成り立つサンゴ礁保全推進週間としての確立を引き続き目指していく。

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2 行政棟 4 階

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会事務局

(沖縄県環境部自然保護課内)

電話番号：098-866-2243

メール：coralreef@okikanka.or.jp



丸の内 キッズジャンボリー 2018

出展者を募集します！

2007年より当社の主催事業として実施している夏休みの子どもと家族の為のイベント「丸の内キッズジャンボリー」を2018年も開催します。

本イベントは、子どもたちに未来の夢を育む感動・発見・驚きを届けることを目的に、毎年多くの企業・団体の皆様から、それに相応しいコンテンツを出展という形でご提供いただいております。

昨年の来場者数は3日間で11万人以上、過去11回の累計延べ来場者数は120万人を超えるなど、今や東京における夏休みの子どもと家族の為のビッグイベントとして定着しています。また来場者からの満足度(90%)に加え、ご出展いただいた企業・団体の皆様からも大変高い評価を頂いております。

2018年は、間近に迫る東京2020大会に向けて、時節に相応しいプログラムを充実させることで、この丸の内キッズジャンボリーからも機運の醸成を図るとともに、多くの企業・団体の皆様にご提供頂く多彩なプログラム展開により、子供達へたくさんの感動・発見・驚きを届けて参ります。

是非、皆様のPRの機会としてもご活用いただきたく、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

【開催日程】 2018年8月14日(火)～16日(木)

【出展募集会場】 東京国際フォーラム

ホールE、ホールB5、ガラス棟会議室、地上広場 など

出展のお申込み、その他のご相談につきましては、下記担当にお問合せください。

(お問合せ)

株式会社東京国際フォーラム 事業推進部 担当：熊澤、升田

電話：03-5221-9043 (平日 9:00～17:30)

◆開催概要◆

- 催事名称 : 丸の内キッズジャンボリー2017
 開催日程 : 2017年8月15日(火)・16日(水)・17日(木)
 主催 : 株式会社東京国際フォーラム
 共催 : 読売新聞東京本社
 特別協力 : 読売KODOMO新聞
 事務局・制作協力 : 株式会社ウインズ・インターナショナル
 対象 : 幼児・小学生・中学生及び保護者
 入場料 : 無料 ※ただし、プログラムによっては材料費等の実費を申し受ける場合あり。
 入場方法 : 自由 ※ただし、一部プログラムへの参加は事前申込または当日整理券が必要。
 来場者数見込 : 約12万人



《過去の開催データ》



	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
総来場者数	112,095	94,605	125,149	130,574	140,311	110,604	109,545	109,719	70,830	90,703
出展等の 参加団体・企業数	116	79	121	113	81	102	107	84	67	46
企画アイテム数	139	101	152	130	128	108	133	107	92	104

※2015年は展示ホール（現：ホールE）等が使えないため縮小開催

2

◆企画全体構成◆

丸の内 キッズ ジャンボリー

出展企業・団体を募集

ワンダークラブ

ガラス棟会議室・ホールD5・ホールD7

企業や団体による多彩なセミナーやワークショップが勢ぞろい。すごい！不思議！どうして!? できた!! 科学や芸術、仕事体験、創作学習など元気な好奇心を刺激し、未来への夢を育む、新発見、驚き、感動の体験ゾーンです。

ワンダーキャンパス

ガラス棟会議室

東京国際フォーラム（TIF）によるオリジナル・プログラム。“学校では学べないことが学べる、どこにもない学校”が登場！本物との出会いやワンダーな体験が待っています。

キッズゲームコーナー

ガラス棟ロビー等

誰でも自由に、気軽に遊べる“お遊びコーナー”を展開

キッズステージ

ロビーギャラリー

ステージでは賑やかで楽しいライブを毎日展開。

出展企業・団体を募集

キッスタウン

地上広場

東京消防庁の防災体験や、誰でも気軽に楽しめる、東京国際フォーラム（TIF）の自主コンテンツ、個性あふれる料理のケータリングカーが大集合。

キッズスポーツ / キッズ遊園地

ホールE

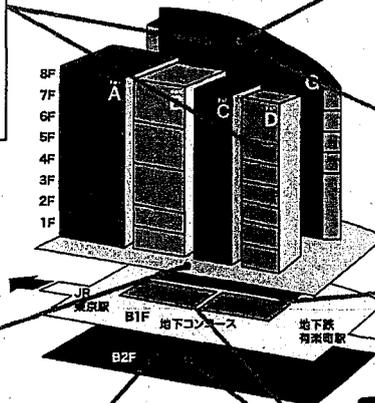
体力測定や新体験のスポーツチャレンジコーナー、一日遊べる遊園地、軽食と休憩コーナーなどを展開。

出展企業・団体を募集

わくわくブース

ホールE・ロビーギャラリー

企業や団体とっておきの情報やコンテンツを発信！子ども大人も楽しみながら学んだりの体験できるブースが勢ぞろいします。



◆出展料金表◆

プログラム	対象施設			内容	出展料(税別)	備考
	施設名	面積	控室			
わくわくブース	ホールE	5,000㎡	共用	3m×3mを1小間とするブース出展	1小間あたり 500,000円/1会期	50~60小間想定
				4m×3mを1小間とするブース出展	1小間あたり 800,000円/1会期	
	ロビーギャラリー(1)	280㎡	共用	スペース出展	1㎡あたり 10,000円/1会期 ※原則50㎡以上	※オープンスペース
ワンダークラブ	ホールD5	280㎡	専用(2室)	ワークショップ、展示等	1室あたり 500,000円/1日	3室
	ホールD7	340㎡	専用(4室)	ワークショップ、展示等	1室あたり 600,000円/1日	3室
	ガラス棟会議室(大)	200㎡	無し	ワークショップ、展示等	1室あたり 500,000円/1会期	1室
		144㎡	専用(1室)	ワークショップ、展示等	1室あたり 500,000円/1会期	4室
	ガラス棟会議室(中)	80~87㎡	共用	ワークショップ、展示等	1室あたり 300,000円/1会期	3室
	ガラス棟会議室(小)	57~61㎡	共用	ワークショップ、展示等	1室あたり 250,000円/1会期	6室
	ガラス棟ラウンジ	224㎡	無し	ワークショップ、展示等	350,000円/1会期	1スペース ※オープンスペース
キッズタウン	地上広場エリアB	180㎡	共用	参加体験型コンテンツ、展示等	600,000円/1会期	1エリア
	地上広場エリアD	160㎡	共用	参加体験型コンテンツ、展示等	600,000円/1会期	1エリア

※上記料金にはテーブル、椅子等の基本備品が含まれるものもあります。(詳細別紙)

※「わくわくブース」のブース出展には基礎小間(パネル囲い)を含みます。(詳細別紙)

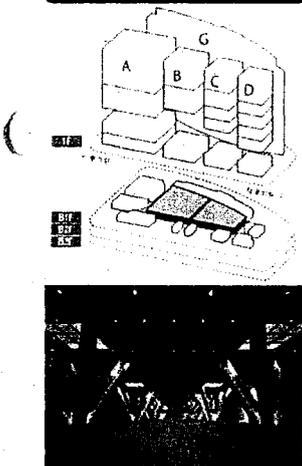
※プログラムコンテンツ制作に係る費用は出展者様にてご負担ください。

※本表以外のご希望についてもお相談を承ります。お気軽にお問い合わせください。

4

ホールE 会場概要

B2F ホールE



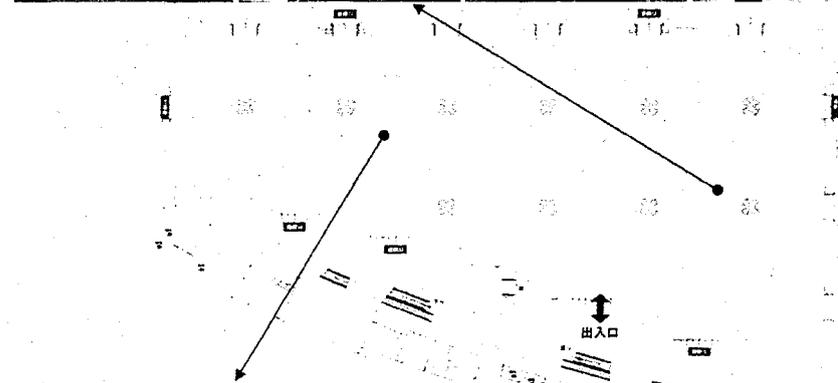
<来場者参加方法>

- ◆ホールEへは、無料で入場いただけます。
- ◆ホールEコンテンツには、自由に参加・ご見学いただけます。

わくわくブース

出展企業・団体を募集

◆家族が共に楽しみながら学び情報を得られる参加体験型ブース・スペースを展開。団体・企業にご出展いただけます。



キッズスポーツ / キッズ遊園地

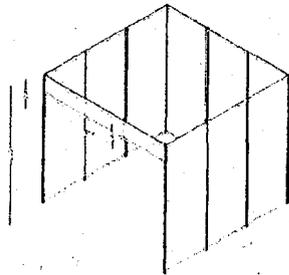
◆体力測定や新体験のスポーツチャレンジコーナー、一日遊べる遊園地を展開。



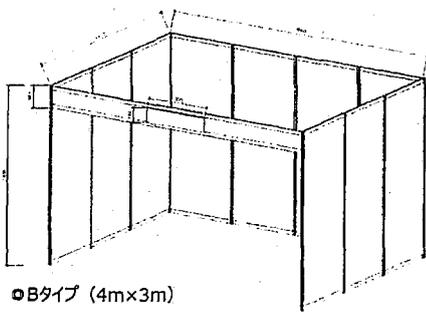
◆ホールE「わくわくブース」(ブース出展)◆

ホールE「わくわくブース」(ブース出展)	出展料	3日間1小間	Aタイプ: 3m×3m	¥500,000 (消費税別)
			Bタイプ: 4m×3m	¥600,000 (消費税別)

<基本小間仕様>



○Aタイプ (3m×3m)



○Bタイプ (4m×3m)

<基本小間>

- ◆システムパネル 1セット
(Aタイプ: 間口3m*奥行3m*高さ2.4m / Bタイプ: 間口4m*奥行3m*高さ2.4m)
 - ◆展示机(1800×600) 1台、イス2脚
(その他の備品リースはご相談に応じます。但し別料金となります。)
 - ◆社名板1セット (社名、基本指定サイズ、スミ文字・角ゴシック出力)
 - ◆コンセントは100V15A平行口1ヶ (2口)
- ※基本装飾備品を含むのは社名板1セットとしますが、複数小間をご利用の場合はご相談に応じます。
 ※内側の表示に規制はありませんが、外壁へは上記の社名板以外の装飾は出来ません。
 ※角小間もしくは隣接する出展者の許可がある場合は、小間の袖パネルを取り外すことが可能です。
 ※パラベットを支える支柱は原則として取り外せませんが、複数小間をご利用の場合はご相談に応じます。
 ※造物物の高さは、2.4mまで、展示・装飾物 (バルーン等) の高さは、5mまでとします。

<その他>

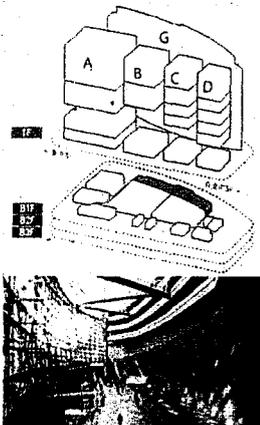
- ・控室として、ホールE前の「セミナー室」を共用でご利用いただけます。
- ・ホールE内にストックスペースを用意いたします。(1社、1スペース: 3m×1.5m程度の地渡し)
- ・出展小間の位置は、会場設備や配置等を考慮し、主催者が決定いたします。
- ・開催中は、スタッフが常駐していただき、来場者への対応、展示物の管理等にあたってください。

<設営撤去を含むご利用可能時間>

- ・8/14設営 ; <10:00~18:00 >
- ・8/15 ; <08:00~18:00 >
- ・8/16 ; <09:00~18:00 >
- ・8/17 ; <09:00~21:00 >

ロビーギャラリー 会場概要

B1F ロビーギャラリー



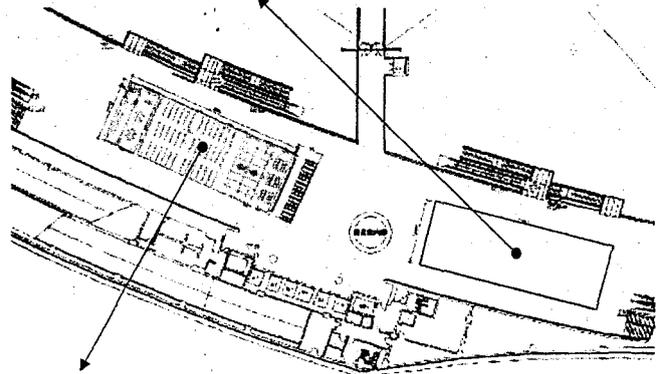
<来場者参加方法>

- ◆ロビーギャラリーへは、無料で入場いただけます。
- ◆ロビーギャラリーコンテンツには、自由に参加・ご見学いただけます。

わくわくブース

出展企業・団体を募集

- ◆家族が共に楽しみながら学び情報を得られるスペースを展開、団体・企業にご出展いただけます。



キッズステージ

- ◆ステージでは賑やかで楽しいライブを毎日展開。



◆ロビーギャラリー「わくわくブース」(スペース渡し)◆

ロビーギャラリー「わくわくブース」(スペース渡し)

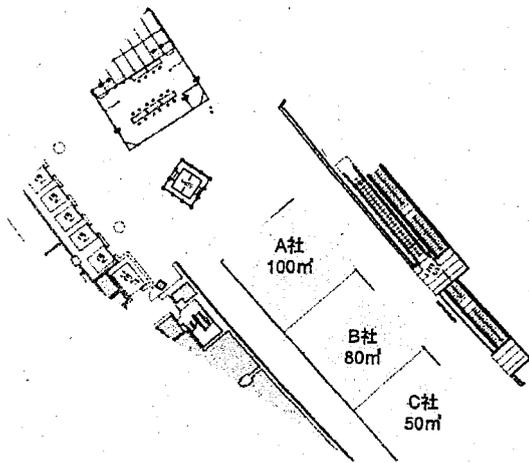
出展料

3日間

1㎡あたり
※50㎡以上

¥10,000 (消費税別)

<基本小間仕様>



※上記のスペース配置、及び㎡数はイメージです。

<スペース渡し>

- ◆自社で独自の設営を行っていただきます。
- ◆電気は幹線工事までを主催者側で負担します。
(2次側工事をご依頼いただければ主催者側で施工可能です。但し別料金となります。)
- ※壁面造作の際は、出展状況に応じた壁面位置の調整等が必要な為、主催者との協議が必要です。
- ※造作物の高さは2.4mまで、展示・装飾物の高さは5mまでとします。

<その他>

- ・控室として、ホールE前の「セミナー室」を共用でご利用いただけます。
- ・出展スペースの位置は、会場設備やステージ配置、出展㎡数等を考慮し、主催者が決定いたします。
- ・開催中は、スタッフが常駐していただき、来場者への対応、展示物の管理等にあたってください。
- ・施工後やキッズジャンボリーの開催時間以外は周囲をベルトパーテーションで囲うのみで、警備などは常駐しません。
- ・ステージや他の出展者との音の干渉・制限があります。

<設営撤去を含むご利用可能時間>

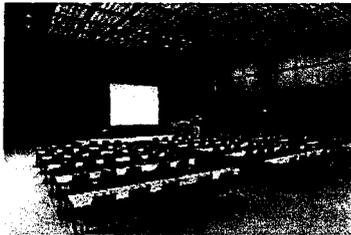
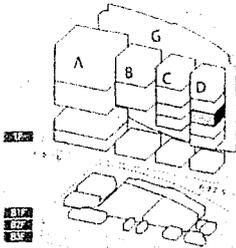
- ・8/14設営 ; 13:00~18:00
- ・8/15 ; 08:00~18:00
- ・8/16 ; 09:00~18:00
- ・8/17 ; 09:00~21:00

※大きな音の出るような施工作業等、作業内容によっては、上記以外の時間帯を指定する場合があります。

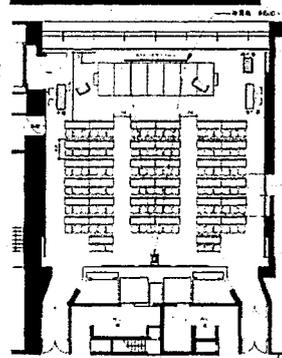
8

ホールD5 会場概要

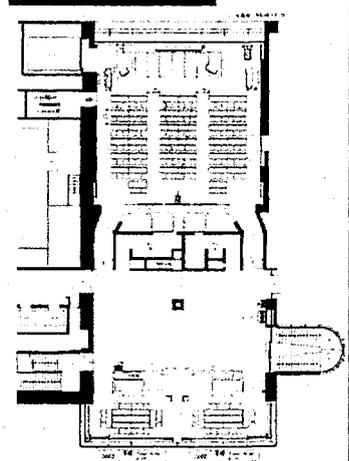
Dブロック5階 ホールD5



ホールD5 レイアウト例



Dブロック 5F/全体図



施設名	施設規模	収容人数
ホールD5	285㎡	スチール114名

控室として、同じ707にある、D502・D503の2室を準備します。

出展企業・団体を募集

ワンダークラブ

- ◆企業・団体の持つワークショップやセミナー等の子どもと家族のためのコンテンツをご出展いただけます。
- ◆科学や芸術、お仕事体験や創作体験等、子どもたちの世界を広げる、新発見、驚き、感動の体験ゾーンとします。
- ◆1会場につき、1日1団体の出展を募集します。



31

9